

ご近所の皆さん、おはようございます（こんにちは）。村議会議員の大名美恵子でございます。日頃から大変お世話になっています。

2014年の新しい年を迎えました。今年も、皆さんと力をあわせ、安全・安心の東海村のために全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

正月早々ですが、この場所をお借りし、少しの間、新年の訴えをさせていただきます。ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

昨年は、参議院選挙や茨城県知事選、東海村長選と大きな選挙が続いて行われました。日本共産党は、これらの選挙で、東日本大震災の教訓に学んで災害に強いまちづくり、原発のない安全・安心のまちづくりを皆さんと一緒にすすめることをお約束し、全力で戦い抜きました。皆様のご支援を頂きまして、大きく躍進することができました。今後ともいっそう暮らしやすい環境整備に力を尽くして参ります。

しかし、参院選で議席を伸ばした自民党安倍政権は、数の力に任せて、国民をないがしろにする悪政の暴走を始めました。今年4月から消費税を8%に増税する、これでは財政が良くなるどころか、暮らしも経済もどん底に突き落とされるだけです。福島原発事故は汚染水問題が深刻化し未だ事故の解明がないのに再稼働や輸出を言い出し無責任の上塗りです。昨年12月には、突然審議打ち切りで特定秘密保護法を強行可決し、何が秘密かわからないまま国会議員や国民が処罰されるという、かつての治安維持法同様、日本を戦争する国に作り変えるための策動が行われ、どれをとっても、国民の命と暮らしが脅かされることばかりです。今、孫子の将来にきな臭さを感じて多くの方々が胸を痛めています。何としても秘密保護法は廃止しなければと必死な思いでいます。

そして暮れも押し詰まった12月26日、安倍首相は靖国神社参拝を行いました。これにはアメリカ政府でさえ、「日本の指導者が近隣諸国との緊張を悪化させるような行動をとったことに、米国政府は失望している」と声明を発表するほど、国際的に批判を受ける行為となりました。

皆さん、日本共産党は、国民の皆さんの命とくらしを守る政策を提案し、安倍政権の暴走にストップをかけるため奮闘します。私たちの国の舵取りの暴走をご一緒に止めさせましょう。

村政においては、村が国の悪政から村民生活をしっかり守る防波堤となるよう引き続き求めてまいります。東海第二原発は、稼働35年を過ぎ、これだけでも老朽原発です。この原発が東日本大震災で被害を受けました。再稼働はせず、廃炉にすることが最も望ましいことです。関係される職員の方々の仕事は、廃炉が確定すれば、次の仕事が必ず生まれます。地域経済への影響も、新しい産業のもとで新たな効用が生まれます。ご一緒に原発に頼らない新しいエネルギー政策を求めてまいりましょう。

皆さん、今年も日本共産党と私、村議の大名美恵子に皆様のご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い致します。以上持ちましてこの場からの訴えと致します。ご協力・ご清聴頂きましてありがとうございました。